

報道発表

令和4年3月18日
名古屋税関
四日市税関支署



令和4年2月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年2月分について、輸出額は「通信機」等が大幅に減少したものの「自動車」、「映像機器」などが増加したことから、対前年同月比41.2%の増加となった。また、輸入額は「原油及び粗油」、「液化天然ガス」、「石油製品」などが大幅に増加したことから同54.3%の増加となった。

その結果、差引額は1,037億円（同66.7%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	831億円	+41.2%	1,868億円	+54.3%	▲1,037億円	+66.7%
11カ月連続の増加		11カ月連続の増加				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	80億円	31倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	872億円	+74.4%
		(2) 映像機器	56億円	5,974倍			(2) 液化天然ガス	545億円	+52.6%
		(3) 石油製品	78億円	+58.0%			(3) 石油製品	76億円	+62.8%
	減少品目	(1) 通信機	0億円	▲99.4%		減少品目	(1) 重電機器	3億円	▲46.2%
		(2) 事務用機器	0億円	▲98.5%			(2) 半導体等電子部品	1億円	▲69.3%
		(3) 科学光学機器	8億円	▲43.6%			(3) 電気回路等の機器	5億円	▲34.0%
地域別動向		アジア、西欧が増加			地域別動向		大洋州、中東が増加、北米は減少		

（参考）ドルレートは、114.84円（前年同月比9.9%、10.33円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。